

泰山木の花



文責 桑机



「協力・全力・あきらめない、みんな輝く運動会」

運動会が終わりました。5月に実施できたのは3年ぶりです。6年生を中心に、できることを一生懸命がんばった運動会でした。表現も徒走もリレーも最後までやり抜く姿が素敵でした。みんなで大きな行事を作り上げた達成感を次につなぎます。



1.2年 玉入れ
かわいいダンスと一生懸命な競技がみているみんなを元気にしてくれました。

3.4年南ツ子ソーラン
はっぴ姿が様になる元気いっぱいのソーラン節。かけ声も力が入っていました。

5.6年 古代から受けつがれた命
見事な表現でした。みんなの真剣さが伝わりました。

紅白玉運び
団の心をつにして玉を運びました。

○係の仕事も一生懸命頑張りました。運動会を支えてくれた5.6年生に感謝！
○保護者の皆様には、先週の美化作業から、片付けまでお世話になりました。
○子供へのジュースはPTAからいただきました。

歯科検診がありました。～6月はむし歯予防月間です～

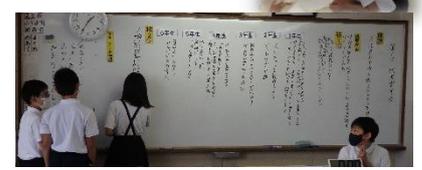
6月1日歯科検診がありました。校医の片山歯科医師に一人一人の歯の状態をみてもらいました。待っている間は絵本の読み聞かせや、歯科検診についてのスライドを見て静かに待つことができました。検診が終わった後、片山先生から「マスクをつけている状況では、歯垢が増えることが多いが、きれいに磨けている児童が多いです。」と褒めていただきました。フッ化物洗口も始まりました。これからはしっかり歯磨きをしてほしいですね。

検査の結果は、自分の歯の状態を確認するために各自で「歯のカルテ」を作成する予定です。検診の結果は後日、家庭への連絡をします。治療が必要な場合は、早めに歯医者さんに行くようお願いいたします。



校内人権月間が始まります。

「みんなの笑顔輝く南小」
6月は、校内人権月間です。先日、児童会代表委員会を開き各学級から出された意見をもとに、今年の人権スローガンを決めました。このスローガンのもとみんなの笑顔が輝く学校になるような取組をしていきます。



日常を戻すためにこれからすべきこと

運動会が予定どおりに終わりほっとしている。コロナ感染は、まだ収束したわけではないが、少しずつ日常を取り戻すかのように感染防止対策を取りながら、二年間行われなかった集会や研修会などが実施されている。世間でもそろそろマスクを外す生活に戻そうとする動きが出ている。

先日、歯科検診をした際、健診を受ける前にマスクを外すように声をかけたが、なかなか外さない児童がけっこういた。高学年に多いように感じた。あまりにもマスクを付けた生活が長かったため、外して自分の顔を見せることに違和感を持つてしまうのだろう。少しずつ慣らすように注意しなければならなかった。

目は口ほどにものを言う」ということわざがある。これは声に出して発する言葉より、目で思っていることが伝わるという意味である。しかし、人の感情は、目だけでなく、口元からも感じ取れることも多い。口元を隠して、他者とコミュニケーションを取ってきた子供たちは、他者の感情や気持ちの変化をもしかしたら読み取りにくくなっているのではないかと、自分の気持ちをマスクの下に半分隠して対話を行うことが、当たり前になってきているのではないかと、そんな老練心がこみ上げた。

以前は、給食は、グループにして会話を楽しみながら食べていた。時には、親子での給食や学習を教えていただいたゲストと一緒に楽しく食べたりもした。他学年と交流給食を計画することもあった。そんな時、いつもと同じメニューが、いつもより豪華に見える、おいしく感じた。そんな魔法のような経験を子供たちには是非させたいと思う。また、先の話になるとは思うが、日常を取り戻すためにこれからは何をすべきかは、子供の立場になって考えていかなければならない。